

006

OCT
2017

とわだじかん

TOWADA TIMES

ArtsTowada

とわだじかんは「美術館を起点に、十和田を旅する」ための情報紙です。



特集

建築巡りにでかけよう

TRIP×ARCHITECTURE

十和田には美術館をはじめ、
日本を代表する3人の建築家によって
設計された公共施設が徒歩圏内にあります。
アート鑑賞後は建築巡りにでかけよう！

とわだで、楽しい、美味しい、のんびり旅

01
**TRIP×
ARCHITECTURE**
建築巡りにでかけよう

02
MAP
まちなか MAP
広域 MAP

03
FOOD
ここ・これ ごはん

04
SWEETS
まちを取材「まちなか部」

05 / 06
**INFORMATION/
INTERVIEW**
常設展示作家シリーズ⑥
「森北 伸」

建築巡りにでかけよう

美術館から徒歩圏内には世界で活躍する3人の建築家が設計した現代建築があります。建築界のノーベル賞と称されるプリツカー賞を受賞した西沢立衛氏設計の十和田市現代美術館。同じくプリツカー賞受賞の安藤忠雄氏設計の教育プラザ。そして、2020年東京オリンピックの「新国立競技場」を設計した隈研吾氏による市民交流プラザ「トワレ」。これらの現代建築は、十和

001 十和田市現代美術館

設計:西沢立衛

MAP P4 B-2

空地が屋外展示空間となることによってアート作品と都市が密接に結びつくことをコンセプトに設計されました。敷地に合わせて廊下がカーブしてゆき、廊下に沿って配置された建物と建物の間には屋外展示スペースやイベントスペースが生まれます。十和田の景観にも配慮した建築は、分棟式にすることで建築のボリュームを抑え、十和田のまち並みにあうスケール感を生み出しています。「アートのための家」として作られた白い箱のような建物を敷地内に分散して配置することで、各展示室がアート作品にあわせて長方形の部屋、天井高のある部屋など大小様々なボリュームの建築空間をつくることができました。また、点在する展示室をガラスの廊下でつなぐことによって、部屋から部屋へ移動するときに思いがけない場所でアート作品に出会ったり、桜並木を眺めたりと、まちや通りの雰囲気を感じるとともに建築の内と外、アート作品とまちといったことを同時に感じることができます。展示室に大きな窓を設けるなど、一般的な美術館では珍しい開放的な構成としているのは、ここに存在するアート作品や、ここで行われるアートプログラムがまちなかへ広がっていくことを表現しています。

時間 9:00-17:00 (最終入館16:30) 休 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)・年末年始 ※イベントや工事、メンテナンス等による臨時休館もあります。

TEL 0176-20-1127 駐車場 あり 住所 十和田市西二番町10-9



展示室と展示室を結ぶガラスの廊下。



日没後は高橋匠太「いろとりどりのかけら」を観覧できます。

大きな窓が特徴的な展示室。差し込む光を受けて輝く作品「スプー・ドーホー」(コーズ・アンド・エフェクト)

002 市民交流プラザ「トワレ」

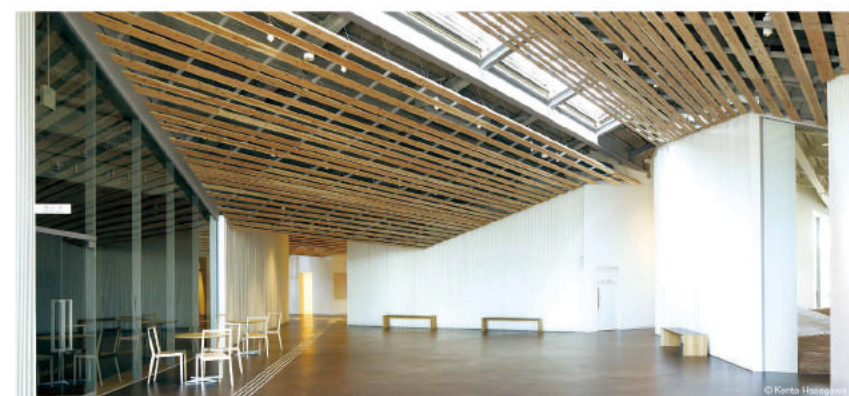
設計:隈研吾

MAP P5 C-3 美術館から徒歩10分

「みちと広場を融合させたにぎわいの広場」をコンセプトに、市民が様々な活動に取り組める拠点施設です。「トワレ」という愛称は市民からの応募より選ばれました。十和田市の十和「トワ」と、この交流プラザを通じて、市民が学び、遊び、交流できる場になってほしいという願い＝「和になあれ」が重ねられています。にぎわいを引き込みながらコミュニティを育む共有空間として設計された「みちの広場」では、バスを待つ学生たちが勉強をしたり、お母さん同士がランチをしたり、市民が思い思いの時間を過ごしています。また、ダンスパフォーマンスや様々なイベントの会場にも活用されています。そのほか、水墨画や絵画など作品発表の場になる展示室、料理教室や食に関するイベントが行われるキッチンスタジオ、子供が安心して遊べるプレイルーム、デスクワークに便利なスモールオフィス、多目的研修室、和室と、様々な用途に対応した部屋がみちの広場に沿って設けられています。これらのスペースでの活動は、屋外からも垣間見ることができ、市民の願いのとおり、まちのコミュニティを育み、にぎわいを創り出す拠点となっています。

時間 9:00-21:00 休 年末年始 TEL 0176-58-5670

駐車場 あり 住所 十和田市稲生町18-33



5ヶ所ある出入口のどこからでもアクセスでき、市民がいつでも滞在できるスペースです。



八甲田山のような外観。木材が奥入瀬渓流の滝のようにも見えます。



デスクワークができるスペースです。



乳幼児を対象とした遊び場です。親子の交流の場として活用されています。



料理教室などで利用されています。

TRIP × ARCHITECTURE

撮影:小原建郎



エントランスのサンルームはあたたかい光が差し込む空間。対話の空間でもあります。



圧迫感を感じさせない低層フォルムで周囲の景観に溶け込み、桜並木の歩行空間にさらなる奥行きと広がりを与えています。



「本でない本」を学ぶ場所として活用される多目的研修室。



官庁街通りに並走するかたちで伸びる細長い読書スペース。



官庁街通りに面した図書閲覧コーナー。

003 十和田市教育プラザ

設計:安藤忠雄

MAP P4 B-1 美術館から徒歩5分

「今あるものを活かして今までにない価値をつくる」をコンセプトに設計された、図書館と教育研修センターの複合施設です。官庁街通りの桜と松の並木など、もともとある樹木を排除も過剰な保護もせず、やさしく包み込むように展開する建築。これは設計者が青森県南部の伝統工芸「南部裂織」から着想を得たそうです。敷地にあるものを全てを価値ある風景と捉え、新たな要素を慎重に織り込んでゆくことで、「懐かしいけれど見たことがない」という新しい教育の場が、官庁街通りの新たなにぎわい創出拠点として誕生しました。新しい要素の一つが、エントランスホールや閲覧コーナー、読み聞かせ、作品展示など館内にちらばったサンルームです。様々な人々が出会い、コミュニケーションをするきっかけの場になっています。世代、立場、考え方を超えて対話するときに生まれる気づきや感動。その「本ではない本」、活字にならない情報こそが、これからの時代に必要な「考える力」や「尊重しあう心」を養うという設計者からのメッセージでもあります。多目的研修室では、市内読書団体による読み聞かせ、紙芝居の開催など読書推進活動も行われています。また、図書館では市内の小学校と連携しながら本の力・読書の魅力を体感できるイベントも開催されています。

十和田市教育プラザ

十和田市民図書館

時間 9:00-20:00 休 毎月第4木曜日・年末年始・蔵書点検期間

TEL 0176-23-7808 駐車場 あり

住所 十和田市西十三番町2-18

十和田市教育研修センター

TEL 0176-24-0301 駐車場 あり

住所 十和田市西十三番町2-14



建築家がつくったストリートファニチャー

美術館が面している官庁街通りから商店街のある三本木大通りには、ストリートファニチャーが点在しています。美術館からまち全体への流れを生んでいるアートなベンチに、歩き疲れたら腰かけてひと休みしてみませんか。

『商店街の雲』日高恵理香

MAP P5 B-3

撮影:小山田那映



商店街の風景に溶け込むような、透明感のあるベンチです。商店街を歩いていたら突然何かもくもくと立ち上がっていて、見るとくぼみがあり、そこにしばしば体を投げ出して休憩できる作品となっています。いつもの風景の中にぼんやり浮かんだボリュームは、あるようなないような空気のような存在感で、新しい風景を作り出しています。

『pot』近藤哲雄

MAP P5 B-3

撮影:小山田那映



いろいろな形をした白いオブジェがたくさん並べられています。これらはひとやすみするためのベンチであり、商店街の人たちが思い思いに花を活けるための花壇や花壇でもあります。ショッピングを楽しむだけでなく、みんなの交流の場として商店街がますますにぎやかになっていくようにという願いが込められています。

02

MAP

十和田市現代美術館周辺 まちなかMAP

とわだへようこそ

楽しい、

美味しいものを探しにまち歩き

美術館でアートを鑑賞したあとは

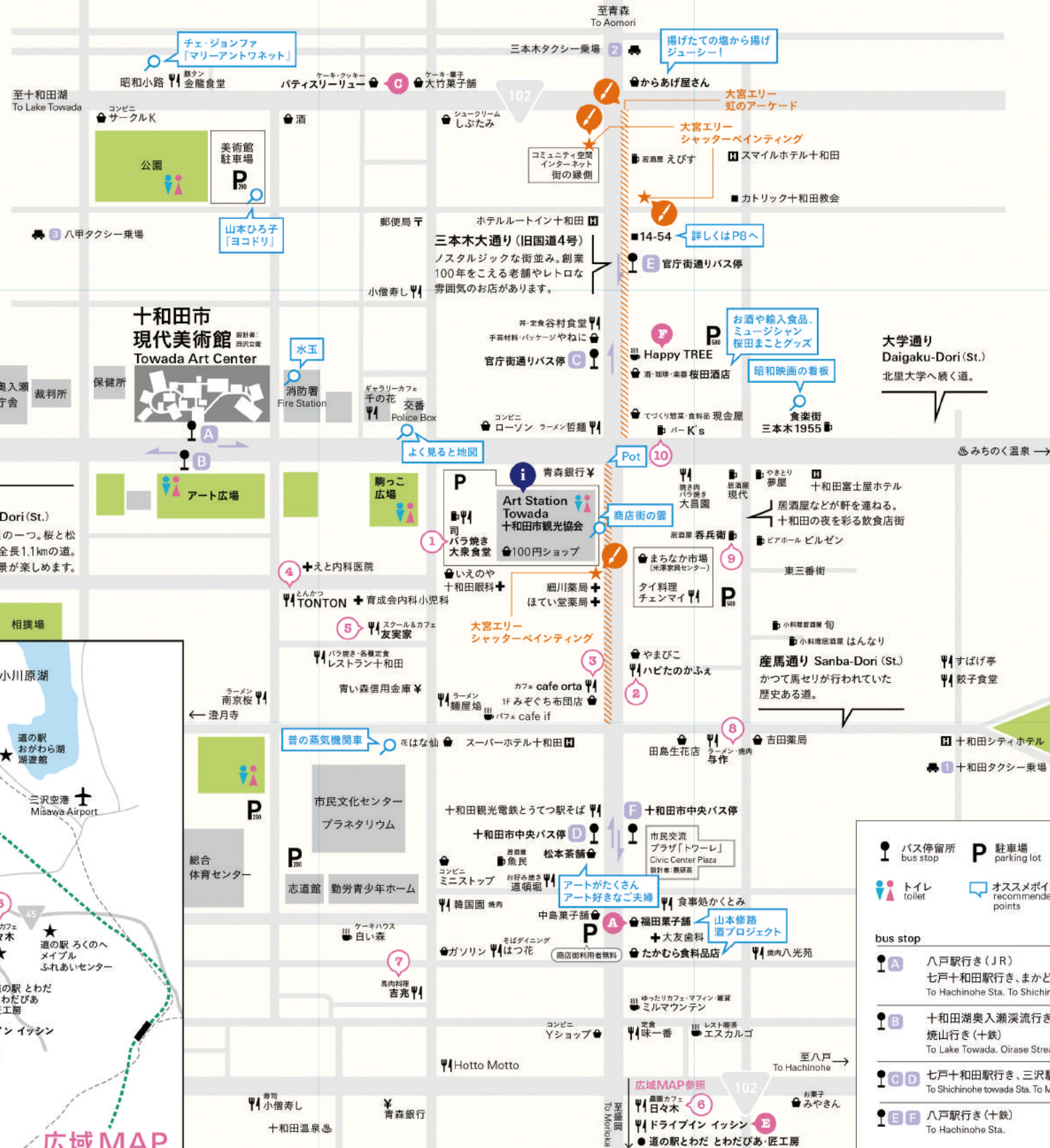
中心商店街へ行ってみよう。

は、美術館で日々お客様をご案内している
コンシェルジュがおすすめするスポット。

キーワードをヒントに探してみよう？

広域MAP参照

- 奥入瀬渓流館 ●奥入瀬湧水館 ●十和田乗馬倶楽部
- 十和田市馬事公苑(駒こランド) ●道の駅「奥入瀬」奥入瀬ろまんパーク
- 十和田市郷土館 ●相馬菓子舗
- 十和田湖民俗資料館と旧笠石家住宅 ●黒子松屋



おすすめ立ち寄りポイント

アートステーショントワダ

Art Station Towada 十和田市観光物産センター



十和田市周辺施設のパンフレットなどが設置され、観光相談にも応じてくれます。十和田土産も販売されていて休憩スペースもあるので気軽に立ち寄ってみよう。

時間 9:00-19:00 (物販は18:30まで)
休 1月1日 TEL 0176-58-6707
駐車場 あり

まちなかアートのスポット紹介



商店街に花が咲いています。

2016年開催の企画展「シンシアリー・ユアーズ 親愛なるあなたの大宮エリーより」では、大宮エリー氏の「商店街を元気にしたい」という想いからまちなかで様々な取り組みが行われました。現在でもシャッターペインティング作品や「虹のアーケード」といった作品を観ることができます。



晴れた日は商店街が虹色に染まります。

十和田市街から奥入瀬渓流・十和田湖へ行く途中にある「稲生川小水力発電所」の壁に大宮エリー氏の作品「蝶と里山」を見ることができます。これは、稲生川土地改良区による「稲生川アートプロジェクト」による、アートを通して、歴史と自然に溶け込む現代の技術をアピールしていきたいという想いから生まれました。

このまちを拓いた新渡戸傳をはじめ先人たちが眠る墓所。

バス停留所 bus stop	駐車場 parking lot	食事処 restaurant	カフェ cafe	店 store	銀行 bank
八戸駅行き(JR) 七戸十和田駅行き、まかど温泉行き(十鉄) To Hachinohe Sta. To Shichinohe towada Sta.					
十和田湖奥入瀬渓流行き(JR) 焼山行き(十鉄) To Lake Towada, Oirase Stream, To Yakeyama					
七戸十和田駅行き、三沢駅、青森駅行き(十鉄) To Shichinohe towada Sta. To Misawa Sta. To Aomori Sta.					
八戸駅行き(十鉄) To Hachinohe Sta.					
タクシー taxi					
1 十和田タクシー Towada taxi	0176 (23) 3155				
2 三本木タクシー Sanbongi taxi	0176 (23) 7155				
3 八甲タクシー Hakko taxi	0176 (23) 8155				
青森タクシー Aomori taxi	0176 (24) 2021				

ここ・これ ごはん

地元民に親しまれているお店から旅行者でも気軽に入れるお店をご紹介します。
自然の恵みが豊かな十和田の食材を使った料理を味わってみてください。

1

司 バラ焼き大衆食堂

十和田バラ焼き
MAP P4 B-3 美術館から徒歩5分



B-1グランプリでおなじみの十和田バラ焼きゼミナール監修のお店。下味のついたバラ肉と大量のたまねぎを炒める鉄板料理。「十和田バラ焼きランチ」800円は、美味しい焼き方を店員さんがレクチャーしてくれます。

時間 ランチ11:00-14:30 (L.O.14:00) ディナー17:30-23:00 (L.O.22:30) 休 月曜日 ※月曜日が祝日の場合は火曜日 TEL 080-6059-8015 駐車場 あり 住所 十和田市稲生町15-41

2

コミュニティカフェ
ハビたのかふえ

カフェ
MAP P5 B-3 美術館から徒歩10分



地元野菜と十和田湖ひめすの料理が人気。『ひめす丼とごぼううどん』1,620円の天ぷらは、ひめすの甘みとふんわりとした食感、衣に染み込んだ甘辛いタレが◎。ごぼうを練りこんだうどんはやさしい味付け。小鉢やドリンクもセットで大満足。

時間 11:00-18:00 (L.O.16:00) 休 日曜・祝日 TEL 0176-23-0853 駐車場 あり 住所 十和田市稲生町16-43 備考 予約可

3

カフェ オルタ
cafe orta

MAP P5 B-3 美術館から徒歩10分



店名の「orta」はイタリア語の野菜畑からとったもの。自家栽培の有機野菜や地元の自然派食材をいただけます。おすすめの「ランチセット」1,200円はデザートやドリンク付き。ゆっくり時間を過ごせるカフェレストランです。

時間 ランチ12:00-16:00 ※ディナー18:00-22:00 (L.O.21:00) 休 毎週月曜日、毎月第1・3火曜日 TEL 0176-25-0185 駐車場 あり 住所 十和田市稲生町15-16 備考 4月から10月は平日のランチはお休み

5

スクール&カフェ
ともみか
友実家

カフェ
MAP P4 B-3 美術館から徒歩5分



生活に「ちょっと使える」教室がいくつかのスクール&カフェ。酒粕と十和田産の奥入瀬ガーリックポークを使用したランチは女性に人気です。酒粕とほうじ茶で煮た「しとりガリボの煮豚ごはん」1,180円（スープ、ピクルス、デザート3種盛り付き）がおすすめ。

時間 11:30-16:00 (L.O.15:30) 休 木曜日、第3土曜日（臨時休業あり） TEL 0176-23-6300 駐車場 あり 住所 十和田市西三番町1-8 備考 2階では月ごとに様々な講座を開催。

7

馬肉料理 吉兆

郷土料理
MAP P4 C-3 美術館から徒歩15分



十和田ではポピュラーな食材の馬肉。定番の「馬肉鍋」一人前1,300円は火を通して柔らかい馬肉、くどくないさらっとした馬肉の油が堪能できます。低カロリー・高タンパク、鉄分豊富な馬肉は女性にもぴったりです。

時間 ランチ11:00-14:00 ディナー17:00-22:00 休 日曜日 TEL 0176-24-9711 駐車場 あり 住所 十和田市西三番町15-4

9

呑兵衛

居酒屋
MAP P5 B-4 美術館から徒歩5分



十和田市一番の老舗居酒屋。地酒や焼酎、チューハイなどのドリンクが豊富です。郷土料理を含む多彩なメニューの中でも本物のホタテの貝殻を使う「塩辛貝焼」530円と「十和田のまるごとにく揚げ」500円はお酒がすすみます。カウンターもあるので一人の方もどうぞ。

時間 17:00-24:00 (L.O.23:30) 休 日曜日 ※祝日の前日は営業 TEL 0176-22-0497 駐車場 なし 住所 十和田市稲生町16-14

※「とわだじかん 006」に掲載されている料金は税込となっております。

4

とんかつ TONTON

とんかつ
MAP P4 B-2 美術館から徒歩5分



美術館すぐそば。柔らかく甘みがあるのが特徴の十和田産の奥入瀬ガーリックポーク「ミルフィーユカツ」定食1,600円。サクとした衣の食感、肉汁が口いっぱいに広がります。とんかつ好きはお試しあれ。

時間 ランチ11:30-14:00 ※日曜・祝日は14:30まで ディナー17:30-19:30 休 不定休 TEL 0176-25-3132 駐車場 あり 住所 十和田市西三番町1-28-2

6

農園カフェ 日々木

カフェ
MAP P4 広域 美術館から車で15分



古民家でありながらモダンな雰囲気のお店。一日40食限定「農園が盛りランチ」（デザート、ドリンク付き）1,000円は、カロリーや塩分にも気を使った体に優しいランチ。十和田の米粉農家さん手づくり「季節のシフォンケーキセット」（飲み物付き）800円もおすすめ。

時間 4月から11月 11:00-16:00 / 12月から3月 11:00-15:00 ※ランチ (L.O.14:00) 休 水曜日、お盆、年末年始 TEL 0176-27-6626 駐車場 あり 住所 十和田市大字相坂字高見147-89

8

与作

ラーメン・焼肉
MAP P5 C-4 美術館から徒歩15分



飲み屋帰りの地元民に愛されているお店。飲んだ後のべ（しめ）の一杯は「カツカレーラーメン」900円。揚げたてのとんかつは、アツアツでサクサク!野菜の旨味たっぷりのカレースープが自家製の細麺によく絡みます。

時間 17:30-翌3:00 ※日曜美は翌2:00まで (L.O.閉店30分前) 休 月曜日 TEL 0176-22-6265 駐車場 あり 住所 十和田市稲生町18-9

10

BAR K's

バー
MAP P5 B-3 美術館から徒歩5分



落ち着ける雰囲気のカウンターバー。十和田のご当地カクテル「桜姫」600円は綺麗な淡い桜色でさっぱりとした飲みやすい味。マイスター・バーテンダーのマスターと相談して自分好みの一杯を決めるのも楽しいです。特製フードやおつまみもあります。

時間 19:30-翌2:00 休 年中無休 TEL 0176-24-2224 駐車場 なし 住所 十和田市稲生町14-35

まちなねた部

美術館コンシェルジュが取材をして見つけた、十和田のまちのホットなスポットやお店、人物など、まちなかの知られざる物語をご紹介します。

今回のテーマは、お土産におすすめのお菓子と、旅の疲れをいやしてくれるスイーツです!

コンシェルジュ
土井



A

福田菓子舗
『酒粕ケーキ』

MAP P5 C-3 美術館から徒歩15分



※写真はカットしたものです。

常設展示作家の山本修路さんとコラボして生まれた「酒粕ケーキ」1,300円は、純米大吟醸酒のほんのり甘くフルーティーな香りとしっとりじゅわつとした生地が特徴。使用している酒粕は、山本さんによる「酒プロジェクト」でつくられた日本酒「天祈り」のもの。このプロジェクトは地元の酒蔵の杜氏と出会い、田植えから収穫まで、日本酒を造るまでの過程を十和田市民と協働で行っています。

時間 9:00-19:00 休 不定休 TEL 0176-23-2523 駐車場 あり 住所 十和田市稲生町20-35

B

相馬菓子舗
『アップルパイ』

MAP P4 広域 美術館から徒歩10分



まさに「リンゴが主役」な一品。砂糖を使わずリンゴ本来の味にこだわった「アップルパイ」259円。リンゴが贅沢に1/2カット使用されており、さっぱりとした酸味とほどよい甘さ、そしてジューシーさが特徴です。サクとしたパイ生地とも抜群の組み合わせ。主に紅玉を使い、紅玉が無い時期は季節のリンゴを使用しています。お値段もお手ごろなので、ちょっとした贈り物にもよいお菓子です。

時間 8:00-19:00 休 不定休 TEL 0176-23-4841 駐車場 あり 住所 十和田市西十一番町22-7

C

パティスリー リュー
『ヴィエノワ・抹茶ちょこら・チョコちょこら』

MAP P4 A-3



焼き菓子「ヴィエノワ」160円は、甘酸っぱいフランボワーズジャムをしっとりした食感のクッキーでサンドしたもの。クッキーは小麦粉本来の香りと程よいバター風味を楽しめます。ネーミングもかわいい「抹茶ちょこら」「チョコちょこら」各160円は、ヘーゼルナッツにキャラメルをかけたベスト状にしてチョコと合わせたジャンドゥーヤが決め手。さくさくクッキーとの相性もばっちりです。

時間 10:00-19:00 ※日、祝日は18:00まで 休 毎週木曜日、第三水曜日 TEL 176-27-6889 駐車場 あり 住所 十和田市西一番町17-16

D

ふる里の銘菓処 黒子松屋
『ひめす最中』

MAP P4 広域 美術館から車で10分



和菓子の種類が多く美味しい店ですが、おすすめは十和田湖ひめすをかたどった一風変わった見た目の「ひめす最中」130円です。うろこの模様やヒレ、なんとも言えない表情までしっかりと作りこまれているので目でも楽しめます。ほんのりと塩味の効いた甘すぎない粒あん和最中の皮の香ばしさが相まって上品な味わいです。十和田のお土産にもぴったりです。

時間 8:00-20:00 休 なし TEL 0176-22-8830 駐車場 あり 住所 十和田市三本木西金崎380-5

E

ドライブイン イッシン
『バナナパフェ』

喫茶店
MAP P4 広域



知る人ぞ知る!?豊富なフードとドリンクメニューを誇るお店。「バナナパフェ」800円は生クリームが薔薇のブーケのように土台のアイスクリームにデコレーションされていて一見の価値あり。アイスクリームはバナナ・ストロベリー・抹茶・チョコの4種類からお好みで選べ、キウイとミカンによる酸味のアクセントも満足度を高めてくれます。提供まで時間を要するので、店内にある漫画やボードゲーム、トランプ、パズルなどでゆっくりとお待ちください。

時間 10:30-22:00 休 木曜日 TEL 0176-22-8788 駐車場 あり 住所 十和田市大字相坂字下前川原65-2 備考 お料理の提供まで要時間。

F

Cafe Happy TREE
『ふわふわパンケーキ』

カフェ
MAP P5 B-3



半世紀前の古民家を改装してつくられた居心地の良い隠れ家的なお店。アメリカンスタイルのパンケーキとベーグル、そして豆だけでなく淹れ方にもこだわったコーヒーがおすすめ。なかでもプレーンの「ふわふわパンケーキ」500円に追加トッピング「キャラメリゼバナナ」100円と「自家製ミルクアイス」100円の組み合わせはベストマッチ。香ばしさと甘さが口の中で広がります。

時間 11:00-20:00 (L.O.19:30) 休 木曜日 TEL 080-3113-9037 駐車場 なし 住所 十和田市稲生町14-44



株式会社Queen & Co.のマイケル・ウォーレン氏（左）とアレックス・クイーン氏（右）。



自由に書籍を手に取って読むことができます。



アーティストを招いて地元の中高校生と一緒に棚をつくりました。



図書館司書さんをお呼びし参加者と図書を整理するワークショップを行いました。

いちよん ごよん まちなか交流スペース 14-54

MAP P5 A-3

14-54は、かつて市民に親しまれる店舗だった建物を「街に開かれた場所」をコンセプトにリノベーションした、参加型オープンスペースです。十和田に移住したアレックス・クイーン氏、マイケル・ウォーレン氏の運営する株式会社Queen & Co.、十和田市現代美術館、そして市の地域おこし協力隊が共同運営する新しい交流の場です。

📖 ライブラリー・スペース

「14-54」内にライブラリー・スペースを運営しています。美術館がこれまで蓄積してきた芸術を中心とした書籍や資料を、自由に観覧していただけます。親子、学生からシニア層まで、さまざまな世代が本を通してアートに親しめる場所を目指しています。

※十和田市現代美術館パートナーズ「TAPS」のみなさまよりご支援いただいております。

🕒 時間 10:00-16:00 📅 休 毎週土曜日、日曜日（年末年始をのぞく）

※平日は不定期 TEL 0176-78-9154 📍 駐車場 あり

🏠 住所 十和田市稲生町14-54

🌐 14-54web /

📄 TAPS詳細 /



常設展示作家シリーズ⑥ 森北 伸 ——『フライングマン・アンド・ハンター』



1. 常設展示作品を制作しているときの思い出深いエピソードを教えてください。

作品の設置にあたり初めて青森を訪れましたが、第一印象は空気が乾いていて木々が青々としている事でした。僕が住んでいる多治見（岐阜）は、日本一暑い場所として知られており、木々も鬱蒼として深緑なので、まずはその違いに驚かされました。また美術館のオープニングは展示作家が集まり国際色豊かな集まりになっていましたが、同日に隣の公園が桜祭りをやっており、地域の方々がたくさん集まっていました。その日はグローバルな場とローカルな場が隣同士で共存していて、とても興味深かったです。ちなみに僕はオープニングの途中で桜祭りの場に移り、ござのうえで焼き鳥とコーラで楽しく過ごさせていただきました。

2. 制作のテーマや大事にしていることを教えてください。

自身の作品に対し、100年後の人や100年前の人が見たらどう見えるか、また現代の未開の地の人がどう見るのか、漠然と想いを馳せることが多くなりました。それらは空想することしか出来ませんが、頭の中でコネクトすることで普遍的な問題に直面し、現代に生きる僕にとっての同時代性を表現できるのではないかと考えています。その一方で、自身の制作活動はガイドブックを持たない旅のように、偶然の出来事に会ったり、新たな発見があったりと、とても

有意義な時間を過ごせます。時にはとても不自由なことにも直面しますが、その中で自由を勝ち取ろうとする想いは、初めからある自由を享受して生きる行為より、何かが高揚し生きている実感が得られます。

3. 今後、どのような活動をされるご予定ですか？

幼少の頃から漠然と自由に生きたいと願っていました。その達成のための一つの選択が美術の道だったと思います。自身の成長に添いながら「自由」の意味も変容してきますが、今もなお変わらず目指す山頂です。今は3合目あたりでしょうか、死ぬまでに山頂にたどりつけるか。ただし寄り道が大好きなので、さまざまな寄り道しながら、少しでも山頂に行けるよう精進することが、今思うことです。

森北 伸（もりきた しん）



1969年愛知県生まれ。愛知県立芸術大学卒業。人や家などをモチーフとし、絵画や彫刻作品を制作。2009年「KAMI：静と動—現代日本の美術」ザクセン州立美術館、（ドレスデン、ドイツ）、2016年「あいちトリエンナーレ2016」に参加するなど、国内外の展覧会で作品を発表している。2017年10月7日から2018年1月28日まで十和田市現代美術館にて公立美術館では初となる個展を開催。

他にもおすすめしたい情報がいっぱい！ Arts Towada Web

「十和田の旅をより楽しく」をテーマに、アート、お土産、飲食店、宿泊、観光スポットなど、さまざまな観光情報を掲載しているウェブサイトです。

<http://www.artstowada.com/>

ウェブサイト「Arts Towada Web」へのお問い合わせ先
一般社団法人 十和田市観光協会 TEL:0176-24-3006



編集後記

とわだじかん006を制作するにあたり快く取材に協力してくださったみなさま、本当にありがとうございました。本誌を手にとってくださった方の「とわだじかん」がより充実したものになりますように。

お問い合わせ先 十和田市現代美術館 青森県十和田市西二番町10-9 TEL 0176-20-1127 info@towadaartcenter.com
<http://towadaartcenter.com/> <https://www.instagram.com/towadaartcenter/> <https://twitter.com/ArtsTowada> <http://www.facebook.com/artstowada>
発行：十和田市現代美術館 コンシェルジュ アートディレクション&デザイン：加藤賢策・和田真季（LABORATORIES）